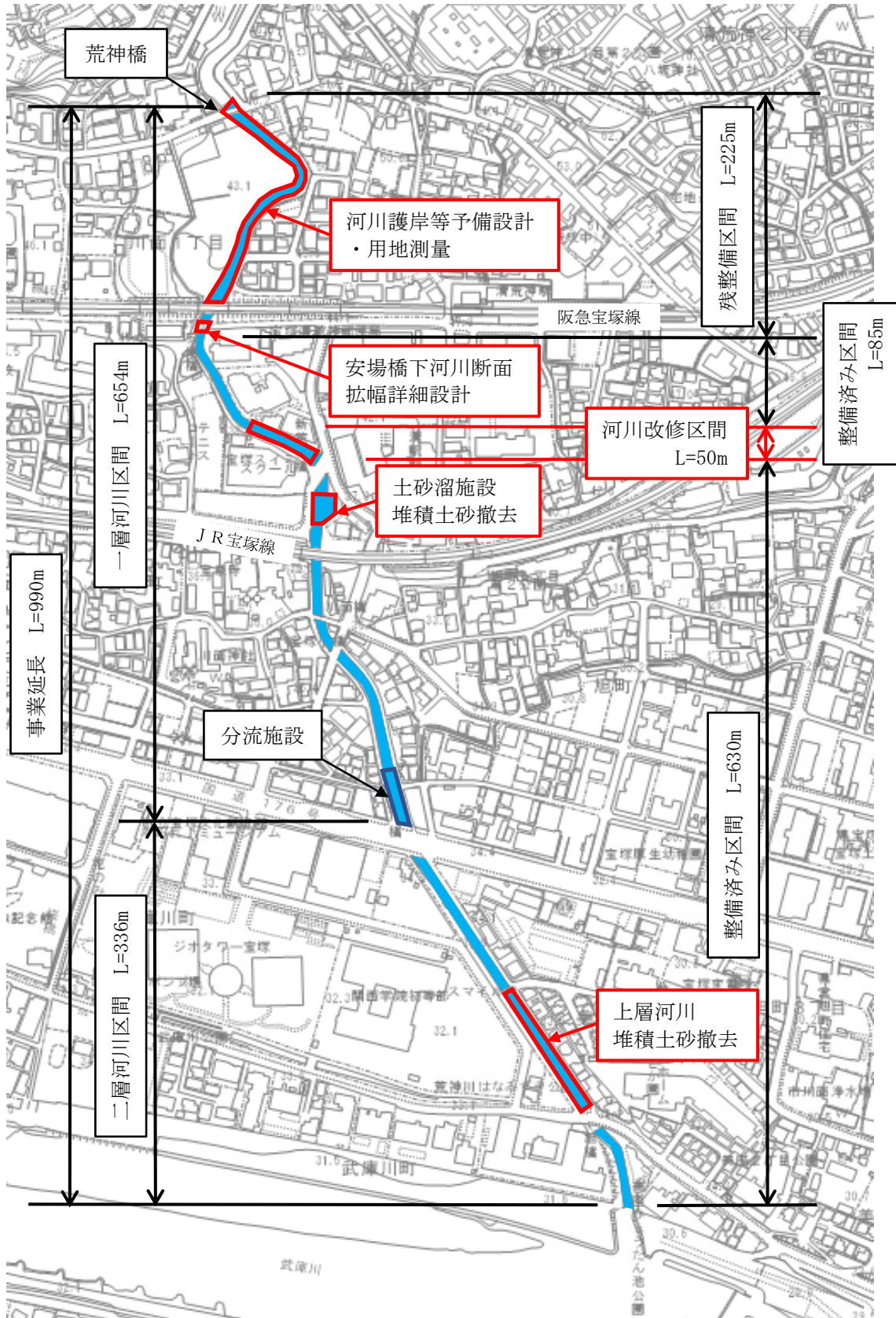


荒神川都市基盤河川改修事業の詳細

都市安全部 公園河川課

1 令和6年度の設計・工事等実施箇所



2 令和6年度の事業概要

設計等業務については、残整備区間の事業進捗を図るため、安場橋下河川断面拡幅詳細設計及び阪急宝塚線以北の河川護岸等予備設計・用地測量を行う。

工事については、土砂溜施設上流の河川整備を令和5年度の繰越明許予算で行うとともに、整備済み区間の維持管理工事として上層河川及び土砂溜施設の堆積土砂撤去を行う。

[参考] 事業全体の目的・内容等を以下に示す。

(1) 事業目的

- ①本川である武庫川の河川改修に合わせて、荒神川の流下能力の向上を図る。
- ②事業地周辺での浸水被害の軽減を図る。
- ③上記の治水対策と合わせて、市民が水辺と親しめる河川空間として、親水性を考慮した河川整備を行う。

(2) 事業内容

- ①事業延長：武庫川との合流部から荒神橋までの990m
二層河川区間 L=336m (当初計画L=590m)
一層河川区間 L=654m (当初計画L=400m)
- ②事業期間：平成8年度～令和7年度 (延伸予定)
- ③計画流量：31～39m³/s
二層河川区間 上層河川 13m³/s
下層河川 26m³/s
一層河川区間 31～36m³/s
- ④計画規模：r 60分=47mm

(3) これまでの進捗状況

平成8年度に事業着手し、令和5年度末時点で武庫川との合流部から安場橋下流までの間、延長715mを整備し、延長整備率は72%である。

武庫川合流部から二層河川の整備を進めたが、当初計画から事業費の増大や事業期間の長期化、更に財政状況の悪化により計画の見直しを行わざるを得ず、二層河川区間の整備延長の短縮やそれに伴う親水性を考慮した河川整備から治水優先の整備への方針転換を行い、事業を進めている。